

> 2018年3月期
 第2四半期決算説明資料〔IFRS〕
 (2017年4月 – 2017年9月)

証券コード： 5938

株式会社 LIXILグループ
 2017年11月6日



Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

2016年3月期よりIFRSに移行しています
 各段階利益の名称の違いは以下の通りです

日本基準	IFRS (当社財務報告)
	継続事業
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
営業利益	事業利益 (CE)
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	税引前利益
	継続事業からの当期利益
	非継続事業
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益 (CE)**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

ペルマスティーザ株式の譲渡契約締結により、ペルマスティーザ社及びその子会社に関連して発生する損益の全てが当第2四半期より「非継続事業」に分類されています。比較のため前年も同様に組替を行っています。

▶ 2018年3月期 第2四半期決算〔IFRS〕の概要

目次

1. 2018年3月期 第2四半期 決算〔IFRS〕の概要
2. 2018年3月期 第2四半期 事業環境及びセグメント別決算の概要
3. ご参考

LIXILグループ 第2四半期（上期）業績ハイライト

▶ PL主要項目は概ね上期業績予想通りに推移

売上収益は8,099億円、前年同期比+1.7%⁽¹⁾

- 事業売却及び非連結化の影響を超えた実質成長により増収
- LWT事業は第1四半期に引き続き全般的に堅調。特に国内では新築・リフォーム売上共に好調に推移

事業利益は407億円、前年同期比-4.5%⁽¹⁾

- 国内ITシステム費用及び積極的なマーケティング活動への投資により販売費及び一般管理費が増加
- 広告宣伝等積極的なマーケティング活動により、LWT・LKT事業の国内売上好調継続

親会社に帰属する四半期利益は、128億円、前年同期比-113億円

- 前年同期の外貨建て借入金円転等により認識された為替差益の剥落（-110億円）及び当期ペルマステリーザ社株式売却の決定により計上された非継続事業からの四半期損失（税金計算考慮後、-110億円）⁽²⁾による減少
- 借入金返済による支払利息の減少（+30億円）
- LIXILビバ上場による親会社に帰属する利益額の減少（-17億円）

第2四半期（上期） 連結業績結果

▶ P/L主要項目は概ね上期業績予想通りに推移

億円	(A)	(B)-(A)	(B)	(C)	(C)-(B)			(D)	(C)-(D)
	17/3期 上期	非継続 振替額	17/3期 上期	18/3期 上期	前年同期比			18/3期 上期	予想差
	前年度 報告額	(4) 差し引き	前年度遡 及修正後 報告額	実績	増減		%	予想 (8/21開示)	増減
				うち 為替影響	(C)-(B)				
売上収益	8,704	-741	7,963	8,099	96	136	1.7%	8,100	-1
売上総利益	2,724	-38	2,686	2,768	33	82	3.0%	-	-
(%)	31.3%	-	33.7%	34.2%	-	+0.4P	-	-	-
事業利益 ⁽¹⁾	398	27	426	407	7	-19	-4.5%	400	7
(%)	4.6%	-	5.3%	5.0%	-	-0.3P	-	5%	+0.1P
非継続事業を含む 四半期利益 ⁽²⁾	241	0	241	128	-	-113	-46.8%	120	8
EPS (円)	84	0	84	45	-	-40	-47.0%	42	3
EBITDA ⁽³⁾	697	7	704	710	-	5	0.8%	-	-
(%)	8.0%	-	8.8%	8.8%	-	-0.1P	-	-	-

- **売上総利益率** 33.7%→34.2% (+0.4pt)
 - ・ 中高級価格帯商品の開発と拡販に注力
 - ・ 生産効率の改善及びシナジー効果により継続改善
- **EBITDA**はマーケティング費用及び国内LWT事業好調を背景とした物流費増による販管費増を主要因として
前期比+5億円ながら、EBITDA比率は-0.1pt

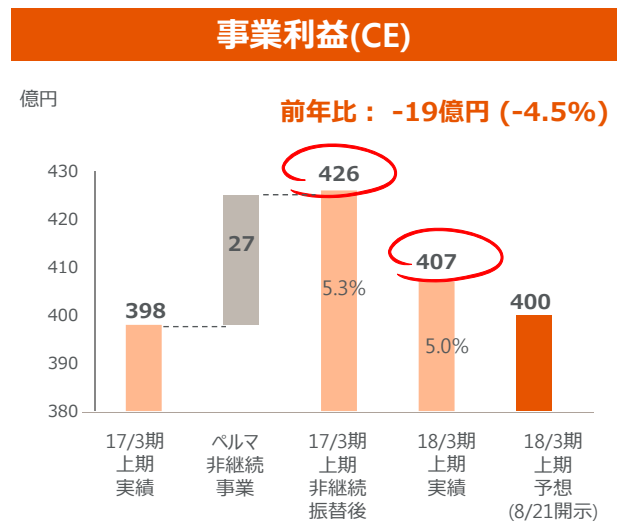
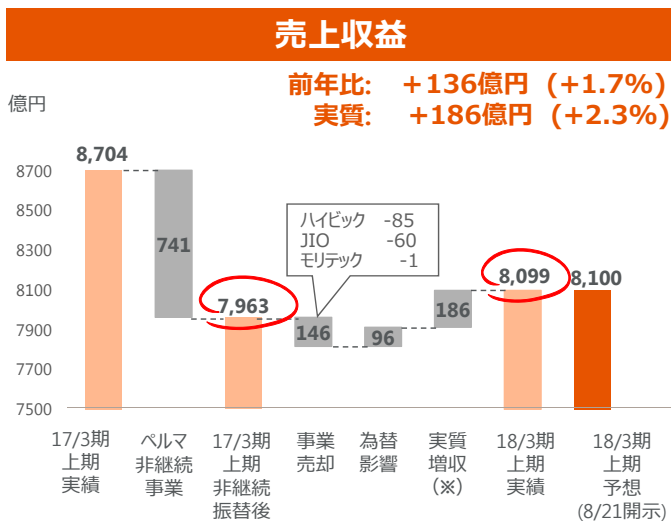
LIXIL

(1) 日本基準の「営業利益」に相当
(2) 親会社の所有者に帰属する四半期利益

(3) EBITDA = 事業利益 + 減価償却費(非継続事業は除く)
(4) 非継続事業からの損益に振替額 (ペルマステイラーザ社株式譲渡の決定に基づく振替額) ⁵

第2四半期（上期） 事業業績結果

▶ 事業利益はIT関連費用やマーケティング活動投資の増加により減益



売上収益 (※) の主な増加要因:

- LWT事業は国内・海外共に積極的なマーケティング投資及び新商品効果により成長
- LHT・LKTも増収に貢献

LWT・LKT国内事業における粗利率・収益性の改善により増益幅拡大するも、IT関連費用・マーケティング費用増により減益

- 日本+13 (+3%)、海外-14 (-7%)

LIXIL

資産効率の強化

▶ 計画的な有利子負債の返済により、財務健全性確保のために引き続き注力

億円	(A) 17/3期末	(B) 17/9期末 ⁽²⁾	(B)-(A) 増減	%
現金及び現金同等物	1,216	1,227	12	0.9%
有利子負債	7,599	7,177	-422	-5.6%
Net有利子負債	6,383	5,950	-433	-6.8%
資産合計	20,422	21,037	616	3.0%
自己資本比率 (%) ⁽¹⁾	26.8	28.0	+1.2P	-
Net Debt/Equity レシオ (%)	117	101	-15P	-

Net有利子負債 433億円の減少

- 主として2017年4月における491億円の期限前返済及び売却目的保有資産への振替による減少

資産合計 616億円の増加

- 主として、のれんの増加（新規連結化、為替影響）及び棚卸資産の増加

自己資本比率 1.2ポイント改善

Net Debt/Equity レシオ 15ポイント（117%→101%）改善

LIXIL

(1) 親会社所有者帰属持分比率
(2) ヘルムステイラーザ社及びその子会社を非継続事業に分類後

7

運転資本と設備投資

▶ 現金及び現金同等物は、フリーキャッシュフロー・財務キャッシュフローが増加ながら、売却目的保有資産への振替により減少

億円	17/3期 上期	18/3期 上期	増減額
税引前利益 ⁽²⁾	416	124	-293
減価償却費及び償却費	298	323	24
法人所得税等支払	-135	-146	-11
運転資本	32	-118	-150
その他	-113	223	337
営業キャッシュフロー	499	405	-93
投資キャッシュフロー	-200	-381	-181
(うち有形・無形資産取得支出)	-320	-295	25
フリーキャッシュフロー	299	24	-275
財務キャッシュフロー	-44	13	58
	⋮	⋮	⋮
現金及び現金同等物の期末残高	1,485	1,227⁽¹⁾	-258

- フリーキャッシュフローの減少：主として①前期子会社売却収入の剥落影響・当期子会社株式の追加取得による支出額の合計として、投資キャッシュフローが-167億円、②棚卸資産（販売用不動産含む）の増加150億円

LIXIL

(1) ヘルムステイラーザ社及びその子会社を非継続事業に分類後
(2) 継続事業からの税引前四半期利益 + 非継続事業からの税引前四半期損失

8

株主還元

■ 今期の配当予定

- 配当金については連結ベースでの配当性向30%以上を維持

億円	16/3期	17/3期	18/3期
上期	30円	30円	30円
下期	30円	30円	30円（予定）
通期	60円	60円	60円（予定）
配当性向	-	41%	40%

■ 自己株式取得

- 資金状況、株価水準を判断し、機動的に実施する方針

■ 株式会社の支配に関する基本方針

- 当社では、多数の株主に株式を中長期で保有していただくことが望ましいと考え、業績を向上し企業価値を高めて、株主の支持をいただけるような施策を打ってまいります。よって、敵対的買収防衛策については、特に定めておりません。

事業構造の見直しと組織の簡素化に関する取り組みの状況

当第2四半期において実施した取り組みの状況は次のとおりです

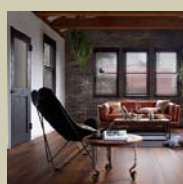
社名/取引内容	セグメント	決定時期	売却/取得理由
ペルマスティリーザ 100%株式譲渡	LBT 海外	2017/8	財務体質の強化、グループ内シナジーの追求
GDWT ⁽¹⁾ 完全子会社化 (51%→100%)	LWT 海外 (EMEA)	2017/9	ガバナンス強化とGDWTの事業効率向上の加速、戦略的重要地域における持続可能な成長の実現

- 引き続き、成長基盤の整備を目的としたバランスシートの改善と組織の簡素化を推進してまいります

2018年3月期 第2四半期（上期） 事業環境及びセグメント別決算の概要



LIXIL Water Technology



LIXIL Housing Technology



LIXIL Building Technology



LIXIL Kitchen Technology



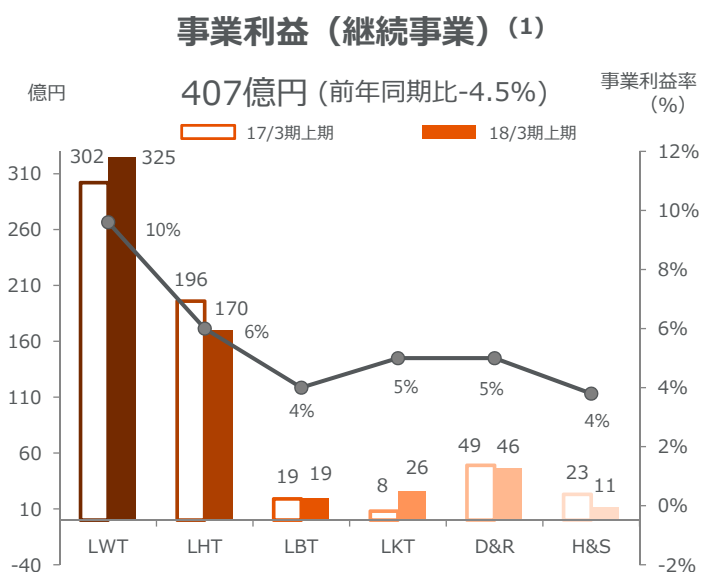
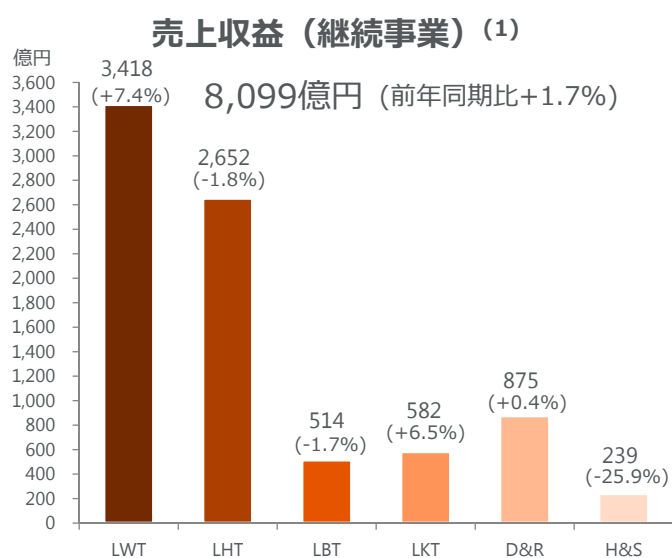
流通・小売り



住宅・サービス

LIXILグループセグメント別業績

売上収益前年同期比+1.7%増、事業利益は前年同期比-19億円、-4.5%減



※ 折れ線グラフは、18/3期上期の事業利益率を示しています。

事業環境のアップデート

主要地域における好調な建設・不動産市場環境が事業成長を後押し

日本

- 上期の新設住宅着工は前年同期比0.7%減
- 日本政府が牽引する様々な住生活環境関連施策により国内の事業環境はポジティブ
- 職人不足と職人の高齢化
- 人口の減少、高齢化

アジア太平洋地域

- 中国では将来の需要の牽引役となる中間所得層の増加により、LWT商品群に対するブランド認知度が向上
- タイでは政情不安により、需要の弱い状況が継続
- インドでは高額紙幣廃止影響による需要減からの回復が遅く、税制改正(GST)の影響については注視が必要

欧州

- 歴史的低金利政策が新築やリフォームへの投資を促進
- 省エネや節水技術に対する需要増によりLWT海外売上成長を後押し
- ドイツではインストーラー及び製品の不足が拡販のボトルネック
- 復活祭(Easter)休暇のタイミングの違いによる営業日数の減少

北米

- 建設・不動産市況の好調を背景にビル事業の受注、水回り事業の売上伸長を後押し
- 衛生陶器の需要増

■ 原材料価格の上昇

LIXIL

13

LIXIL Water Technology

上期は売上収益、事業利益、事業利益率の全てにおいて成長し、力強い結果を出す

4月-9月 億円		18/3期 上期	YoY	実質	18/3期 通期予想	
地域別 売上 (1)	アメリカ	687		+2%	+6%	■ 売上収益は前年同期比+235億円(+7%)
	欧州、中東、 アフリカ地域	701		+4%	+5%	■ 欧州は好調、アジア(中国)も引き続き好調
	アジア太平洋地域	425		+7%	+15%	■ GDWT(南アフリカの連結子会社)完全子会社化(17/9/14)(2)
	日本	1,579		+5%	+0%	■ 事業利益は中高級価格帯商品売上の伸長・シナジー効果によるコスト改善により増益(+23億円)
	連結調整	26				■ アメリカではバックオフィス統合のための一過性費用の発生により事業利益が低減(17/10/1統合完了)
	LIXIL Water Technology	3,418	+7%	+7%	7,030	+6%
事業利益 (1)	LIXIL Water Technology	325	+7%		670	+3%
	事業利益率	10%	+0.0pt		10%	

LIXIL

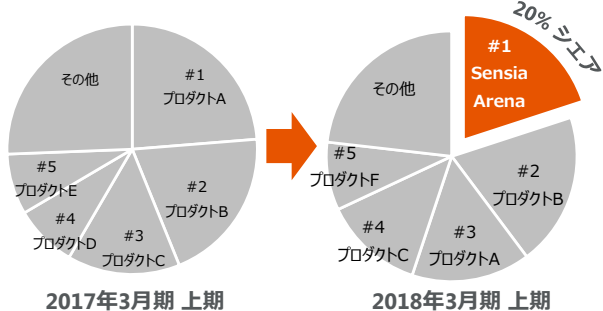
(1) 地域別：マネージメントベース、合計：制度連結会計ベース
為替レート：18/3期 2Q合計 1USD=111.42円、1EUR=126.63円、18/3期前提(地域別) 1USD=115円、1EUR=120円
(2) 9月14日ニュースリリース http://www.lixil.com/jp/news/pdf/170914%20LIXIL_GDWT_J.pdf

14

シナジーによるイノベーション

発売して12ヶ月でドイツで20%のマーケットシェアを獲得した“ベストセラートイレ”センシアアリーナ

ドイツでのシャワートイレ売上(1)



センシアアリーナは2017年3月期上期時点では売上貢献なし

成功の秘訣

デザイン – GROHEがデザインを手がけ、発売以来業界における

受賞数最多の14アワード受賞

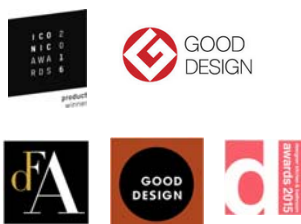
テクノロジー – アクアセラミック、トリプルボルトクス洗浄等INAXのテクノロジーを搭載

ブランド – 欧州・中東・北アフリカ地域における水回りブランドNo.1を誇る強力なGROHEブランド



業界における受賞数最多商品

2016年
5アワード
受賞



2017~現在
9アワード
受賞



LIXIL Housing Technology

➤ 実質増収、利益率は将来に向けた成長のための先行投資により低下

4月-9月 億円		18/3期 上期	YoY	18/3期 通期予想	
地域別売上	日本	2,579	-3% 実質:+1% ⁽¹⁾	0%	
	海外	73	-	-	
	LIXIL Housing Technology	2,652	-2% 実質:+1% ⁽¹⁾	5,370	-1%
事業利益	LIXIL Housing Technology	170	-13% 実質:-13% ⁽¹⁾	415	+6%
	事業利益率	6%	-0.9pt	8%	

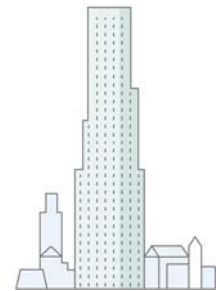
- 売上収益は前年度のハイビック売却影響（-85億円）により前年同期比-48億円（-1.8%）、実質増収
- 計画的なヘッジ取引により、当期上期に原材料（アルミ）価格の上昇が利益に与えた影響は僅少
- 事業利益は販管費の先行投入（IT費用の増加・マーケティングへの注力など）、ハイビック売却影響等により前年同期比-26億円

LIXIL Building Technology

選別受注により売上・事業利益ともにほぼ前年同水準

4月-9月 億円		18/3期 上期	YoY	18/3期 通期予想	
地域別売上	日本	512	-1%	-1%	
	海外	1	-76%	-95%	
	LIXIL Building Technology	514	-2%	1,090	-1%
事業利益	LIXIL Building Technology	19	-1%	40	-26%
	事業利益率	4%		4%	

- 選別受注への取り組みを継続
- ペルマステイリーザ株式譲渡決定（2017/8）により、当第2四半期から同事業は<非継続事業>として除外



LIXIL Kitchen Technology

国内・海外における力強い売上の伸長が利益率改善に貢献

4月-9月 億円		18/3期 上期	YoY	18/3期 通期予想	
地域別売上	日本	537	+7%	0%	
	海外	46	+2%	+9%	
	LIXIL Kitchen Technology	582	+7%	1,150	+0%
事業利益	LIXIL Kitchen Technology	26	+227%	50	+16%
	事業利益率	5%	+3.0pt	4%	

- 国内テレビCM、新商品投入効果などに加え、リシェル、アレスタなどの中高級価格帯製品主カシリーズの売上増加
- 賃貸アパート需要増の継続がコンパクトキッチンの売上を後押し
- 事業利益は売上増収影響、操業度向上による製造コストダウンにより増益

流通・小売り事業、住宅・サービス事業他

売上はほぼ前年同水準、事業利益は一過性費用により5%の減益

4月-9月 億円		18/3期 上期	YoY	18/3期 通期予想	
D & R	売上 ⁽¹⁾	875	+0%	1,830	+6%
	事業利益 ⁽¹⁾	46	-5%	90	+23%
	事業利益率 ⁽¹⁾	5%	-0.3pt	5%	

- 前年同期比で売上収益はおおむね横ばい
- 30代～40代をターゲットにした新業態のライフスタイル提案型ホームセンター：「ハウスデコ」オープン（イオンモール神戸南）

子会社非連結化影響あるも既存事業は依然堅調

4月-9月 億円		18/3期 上期	YoY	18/3期 通期予想	
H & S	売上	239	-26% (実質:-9% ⁽²⁾)	570	-11% (実質:+9% ⁽²⁾)
	事業利益	11	-55%	35	-21%
	事業利益率	4%	-2.8pt	6%	

- JIO⁽³⁾の非連結子会社化、前年同期に進行中であつた建売物件プロジェクト完了による減収減益

LIXIL

(1) IFRSベース
(2) 子会社非連結化影響を除く
(3) ㈱日本住宅保証検査機構（JIO）

19

2018年3月期 通期業績予想（8月21日発表）

通期予想据え置き

億円	17/3期 ⁽⁵⁾		18/3期 ⁽⁵⁾			
	実績	上期実績 (A)	下期予想 (B)-(A)	修正後 通期予想 (B)	前年比(%)	期初 通期予想 (ご参考)
売上収益	16,332	8,099	8,701	16,800	3%	18,500
事業利益 ⁽¹⁾	898	407	523	930	4%	950
事業利益 (%)	5.5%	5.0%	6%	6%	+0.5	5%
非継続事業を含む 当期利益 ⁽²⁾⁽³⁾	425	128	302	430	1%	430
EPS (円) ⁽³⁾	148	45	105	149	1%	149
EBITDA ⁽⁴⁾	1,464	710	-	-	-	1,595
EBITDA (%)	9.0%	8.8%	-	-	-	9%

LIXIL

(1) 日本基準の「営業利益」に相当
(2) 親会社の所有者に帰属する四半期利益
(3) 非継続事業を含む

(4) EBITDA = 事業利益 + 減価償却費（非継続事業は除く）
(5) ヘルマステイラーザおよびその子会社を非継続事業に分類後

20

ご参考



LIXIL Water Technology



LIXIL Housing Technology



LIXIL Building Technology



LIXIL Kitchen Technology



流通・小売り



住宅・サービス

株式会社 LIXIL TEPCO スマートパートナーズ設立

LIXILと東京電力エナジーパートナーが、環境に負荷をかけないネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）の普及促進を目的に合併会社を設立し、太陽光発電システムと竣工後の電力販売をセットにした国内初の新サービスをスタート

LIXIL

Link to Good Living

住宅建材・設備の知見・技術

TEPCO

電力サービスの知見・技術



政府の
施策を
後押し!

課題となっている「コストの壁」を解消し、
ZEHの普及を加速

「みんなにトイレをプロジェクト」

- 2017年4月～9月の半年間に一体型シャワートイレ1台ご購入につき、アジアやアフリカの国々へ簡易式トイレ「SATO」をLIXILから1台寄付
- パートナーさま・お得意さまに共感いただき、208,805台の寄付が確定し、非常に大きな活動に
- 今後は、国連機関や国際NGOと連携して、現地へ「SATO」を順次お届けします



世界の衛生環境を改善しよう!

みんなにトイレをプロジェクト

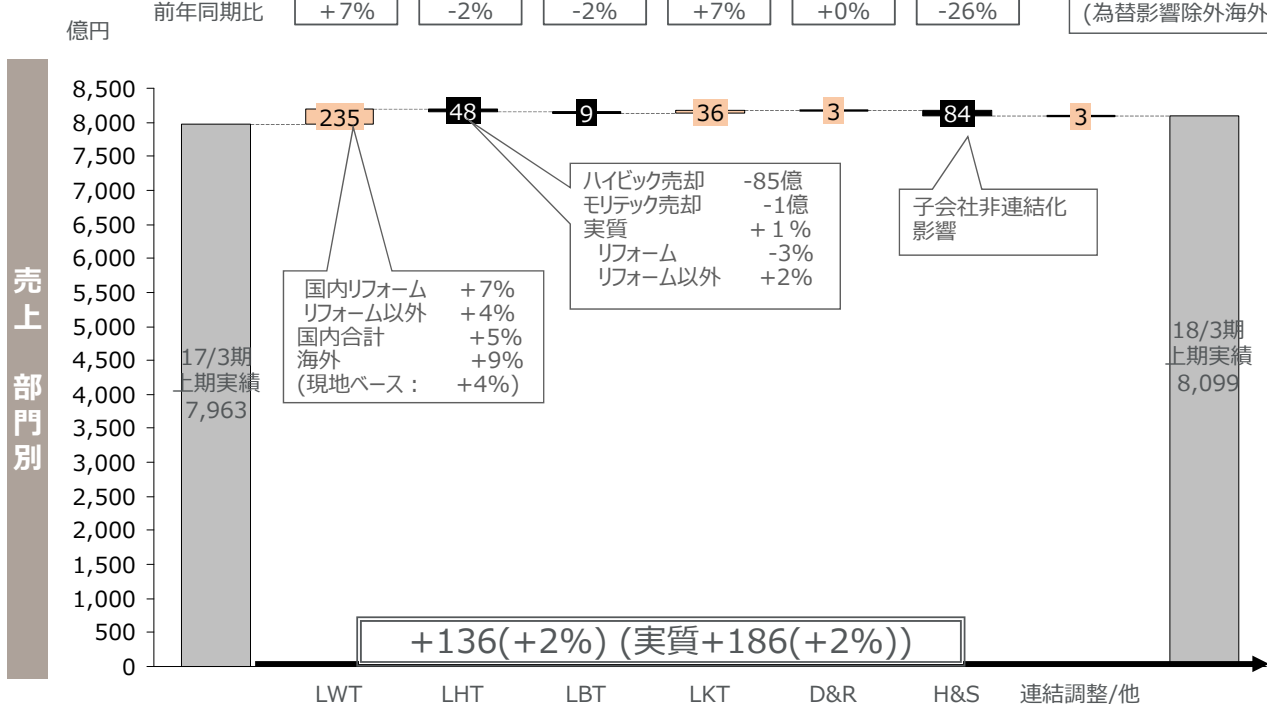


第2四半期 売上の増減 (前年同期差)

前年同期比

+2%

実質国内 +2%
実質海外 +10%
(為替影響除外海外+4%)



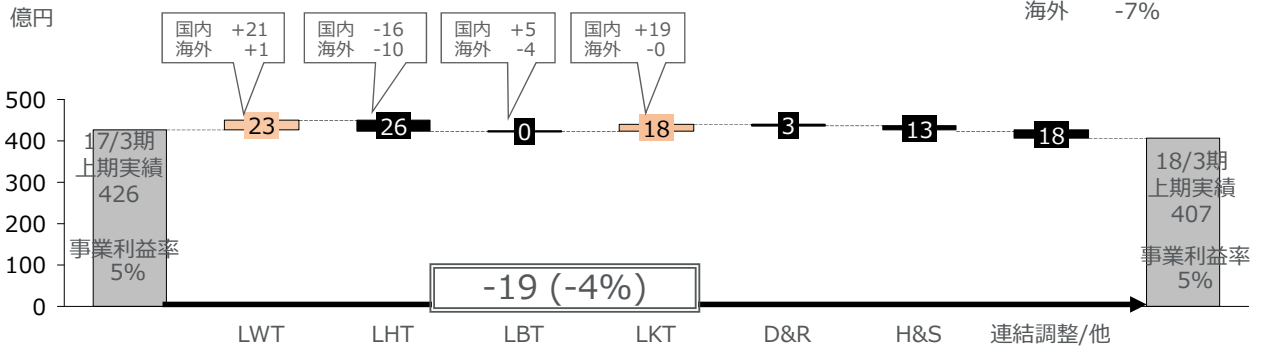
第2四半期 事業利益の増減 (前年同期差)

前年同期比

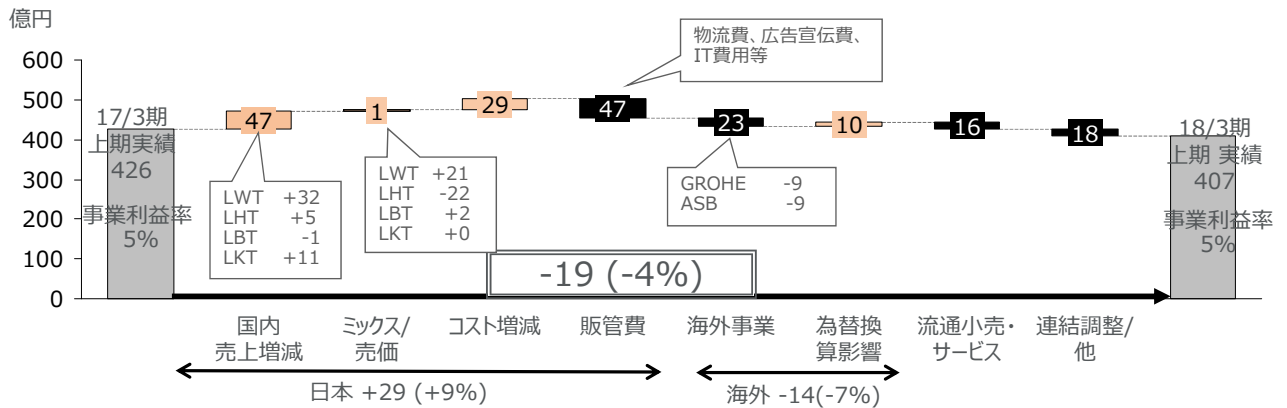
-4%

国内 +3%
海外 -7%

部門別



要因別



LIXIL

25

セグメント別実績及び予想

LIXILグループの事業利益（率）は前年同期から改善

単位：億円		17/3期 上期 ⁽¹⁾			18/3期 上期 ⁽¹⁾			前年同期比%	17/3期 通期 ⁽¹⁾			18/3期 修正後通期予想			前年同期比%
		国内	海外	計	国内	海外	計		国内	海外	計	国内	海外	計	
LWT	売上	1,498	1,685	3,183	1,579	1,839	3,418	7.4%	3,131	3,493	6,624	3,120	3,910	7,030	6%
	事業利益	122	181	302	143	182	325	7.4%	305	346	651	280	390	670	3%
	%	8.1%	10.7%	9.5%	9.0%	9.9%	9.5%	+0.0P	9.7%	9.9%	9.8%	9%	10%	10%	-0P
LHT	売上	2,650	49	2,700	2,579	73	2,652	-1.8%	5,319	122	5,441	5,300	70	5,370	-1%
	事業利益	183	14	196	167	3	170	-13.4%	377	15	392	415	0	415	6%
	%	6.9%	27.6%	7.3%	6.5%	4.4%	6.4%	-0.9P	7.1%	12.0%	7.2%	8%	-	8%	+1P
LBT	売上	518	4	522	512	1	514	-1.7%	1,096	7	1,104	1,090	0	1,090	-1%
	事業利益	20	-1	19	25	-6	19	-1.1%	56	-2	54	40	0	40	-26%
	%	3.9%	-	3.7%	4.8%	-	3.7%	+0.0P	5.1%	-	4.9%	4%	-	4%	-1P
LKT	売上	502	45	547	537	46	582	6.5%	1,065	83	1,147	1,060	90	1,150	0%
	事業利益	7	1	8	26	0	26	226.9%	42	1	43	50	0	50	16%
	%	1.4%	1.8%	1.5%	4.8%	0.6%	4.5%	+3.0P	3.9%	1.5%	3.8%	5%	-	4%	+1P
D&R	売上	872		872	875		875	0.4%	1,720		1,720	1,830		1,830	6%
	事業利益	49		49	46		46	-5.4%	73		73	90		90	23%
	%	5.6%		5.6%	5.2%		5.2%	-0.3P	4.2%		4.2%	5%		5%	+1P
H&S	売上	323		323	239		239	-25.9%	644		644	570		570	-11%
	事業利益	23		23	11		11	-54.5%	44		44	35		35	-21%
	%	7.2%		7.2%	4.4%		4.4%	-2.8P	6.9%		6.9%	6%		6%	-1P
連結調整・他	売上			-184			-181	-			-348			-240	-
	事業利益			-172			-190	-			-360			-370	-
LIXILグループ	売上	6,363	1,784	7,963	6,322	1,959	8,099	1.7%	12,975	3,705	16,332	12,970	4,070	16,800	3%
	事業利益	403	194	426	417	180	407	-4.4%	898	360	898	910	390	930	4%
	%	6.3%	10.9%	5.3%	6.6%	9.2%	5.0%	-0.3P	6.9%	9.7%	5.5%	7%	10%	6%	+0P

LIXIL

(1) 17/3期上期と17/3期通期はヘルマステリーザの株式譲渡契約合意に基づき、ヘルマステリーザ社及びその子会社を非継続事業への分類。それに伴い過去に開示した実績を組替。2017年3月期の数値は参考数値

26

第2四半期 その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

億円	17/3期 上期実績	18/3期 上期実績	増減額	注
賃貸収入	33	32	-1	
有形固定資産売却益	6	2	-4	
子会社株式売却益	3	1	-2	
その他	24	24	0	
その他の収益	66	59	-7	
賃貸原価	22	22	0	
有形固定資産除売却損	12	8	-4	
減損損失	16	33	17	
その他	30	24	-5	
その他の費用	80	88	8	
受取利息	9	10	0	
受取配当金	7	7	0	
デリバティブ評価益	138	-	-138	※1
為替差益	-	132	132	※2
金融収益	154	149	-6	
支払利息	56	23	-33	
為替差損	52	-	-52	※1
デリバティブ評価損	-	124	124	※2
売却可能金融資産評価損	0	-	-	
その他	-	13	13	
金融費用	108	160	51	

「デリバティブ評価益」は「為替差損」と、
「デリバティブ評価損」は「為替差益」と両建てで、表示されています。

	17/3期 上期実績
※1 デリバティブ評価益	138
為替差損	52
Net	86 益 ※3

	18/3期 上期実績
※2 為替差益	132
デリバティブ評価損	124
Net	9 益

※3
2017年3月期上期において計上されたデリバティブ評価益138億円には、
前期一過性の評価益計上額として以下のものが含まれています。
(1) ユーロ建て借入金円転時に計上された為替差益（40億円）
(2) DBJからのユーロ建て借入金返済に伴う時価評価により計上された
為替差益（70億円）
計110億円

LIXIL

27

連結財政状態

億円	[A] 17/3月末	[B] 17/9月末	[B]-[A] 増減			
			(内訳) 売却目的で保有する資産/負債振替額		(内訳) その他	増減合計
			非継続事業 ⁽⁴⁾	その他		
現金及び現金同等物	1,216	1,227	-54	0	65	12
営業債権及びその他債権	3,913	3,347	-584	0	19	-565
棚卸資産	2,046	2,197	-47	0	198	151
売却目的で保有する資産	9	1,984	1,981	3	-9	1,975
その他	13,239	12,282	-1,297	-3	343	-957
資産合計	20,422	21,037	0	0	616	616
営業債務及びその他の債務	3,505	3,159	-358	0	12	-346
有利子負債	7,599	7,177	-223	0	-199	-422
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	-	1,415	1,415	0	0	1,415
その他	3,723	3,016	-834	0	127	-707
負債合計	14,827	14,767	0	0	-60	-60
自己株式	-534	-521	0	0	12	12
その他	6,128	6,791	0	0	663	663
資本合計	5,594	6,270	0	0	676	676
(1) 自己資本比率(%)	26.8	28.0				1.2
(2) 一株当たり純資産(円)	1,902.18	2,040.19				138.01
期末株式数(千株)	287,693	288,292				599

■ その他(資本合計) +663億円：主に四半期利益+137億円⁽³⁾、配当金の支払-87億円、ビバ株式売却等による変動+367億円、その他包括利益+243億円(うち為替換算調整勘定+138億円)

LIXIL

(1) 親会社所有者帰属持分比率

(2) 1株当たり親会社所有者帰属持分

(3) 非支配持分に対する当期利益配分額を含む

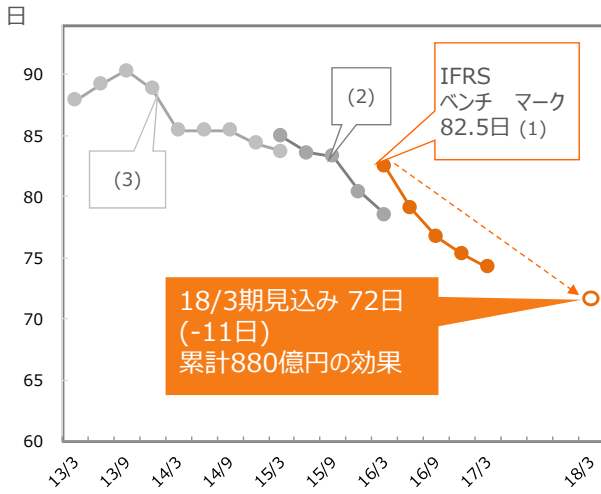
(4) ヘルマステイラザ及びその子会社にかかる評価減後の金額

28

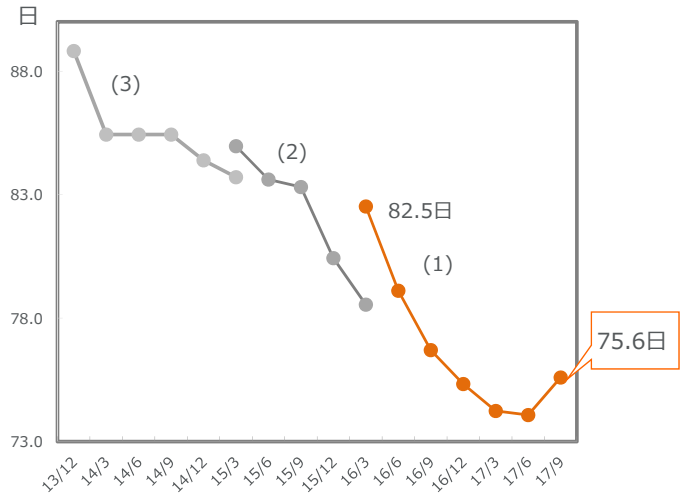
CCC(キャッシュ・コンバージョン・サイクル)改善の状況

当第2四半期におけるCCC（キャッシュ・コンバージョン・サイクル）の状況は次のとおりです

■ 新ベンチマークと18/3期末までの見込み



■ 17/3期 上期 実績



CCC伸長の主な要因： 在庫回転日数(DIO)の伸長、棚卸資産(販売用不動産含む)の増加



(1) 16年3月よりIFRS管理
 (2) 15年9月 中期経営戦略“Redefine the Future”において発表(グローバル施策込み)。プロジェクトビジネスを除く
 (3) 国内活動のみの効果

デザイン力強化への継続的な取組み

11商品が「グッドデザイン賞2017」を受賞

- ▶ LIXILとGROHEの計11商品が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2017年度グッドデザイン賞」を受賞。さらに、「LIXILカーポートSC」がカーポート商品として初めて「グッドデザイン・ベスト100」⁽¹⁾を受賞
- ▶ 国内外の市場のトレンドや、エンドユーザーのニーズ、ライフスタイルの変化などを的確に捉え、高いデザイン性と品質を兼ね備えた商品を提供してきたことが評価された

■ 受賞商品リスト

LIXIL	1. 「LIXIL カーポート SC」	カーポート
	2. 「ML シリーズ」	サッシ
	3. 「美彩 (2017 モデル) 」	屋外用照明器具
	4. 「フルフォールシャワー」	ハンドシャワー、シャワースライドバー
	5. 「プッシュ水栓」	プッシュ式シャワーバス水栓
	6. 「クロマーレス」	サーモスタット付シャワーバス水栓
	7. 「ワイドスクエアボウル」	洗面器
	8. 「スマートモザイクシート」	タイル
GROHE	9. 「GROHE Sense」「GROHE Sense Guard」	ウォーターセンサー
	10. 「Lineare New Collection」	浴室水栓
	11. 「Concetto Professional」	キッチン水栓



プッシュ式シャワーバス水栓
「プッシュ水栓」



サッシ
「MLシリーズ」



LIXILカーポート
「LIXILカーポートSC」



GROHEウォーターセンサー
「GROHE Sense Guard」



GROHEキッチン水栓
「Concetto Professional」



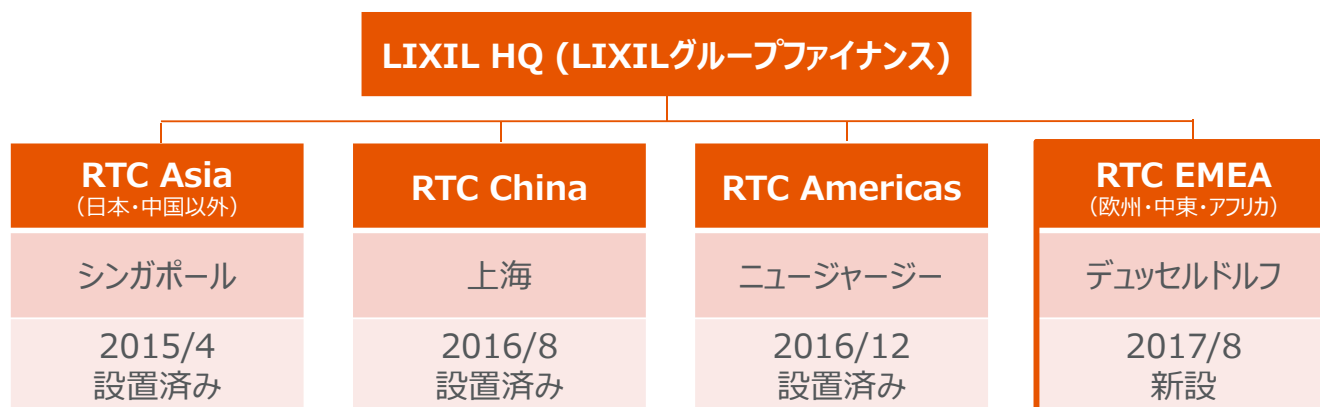
(1) 「グッドデザイン・ベスト100」は全受賞商品の中から特に審査委員会の高い評価を得た商品に贈られる賞
 (2) 詳細はhttp://newsrelease.lixil.co.jp/news/2017/070_company_1004_02.html

財務面におけるガバナンス強化

財務統括センター（RTC : Regional Treasury Center）を全リージョンに設置完了

目的

- キャッシュマネジメント可視化によるガバナンス強化
- 資金効率の向上（余剰資金の集中管理）
- リスク管理（金利・為替）



主要海外子会社業績

会社名	ASB (ASD Holdings)					
通貨・単位	単位：百万米ドル					
決算期	17/3 上期 実績	18/3 上期 実績	前年同期比	17/3 通期 実績	18/3 通期 予想	前期比
為替レート(AR)	106.43	111.42	-	109.03	115	-
売上高	539	547	1%	1,090	1,149	5%
事業利益	43	34	-20%	76	89	18%
事業利益率	8%	6%	-1.7	7%	8%	+0.8
為替レート(CR)	101.12	112.7	-	112.2	115	-
のれん	142	138	-	138	138	-
無形資産	238	233	-	235	-	-
固定資産・在庫等再評価	-	-	-	-	-	-

会社名	Grohe Group (グロ-エ)					
通貨・単位	単位：百万ユーロ					
決算期	17/3 上期 実績 ⁽¹⁾	18/3 上期 実績 ⁽¹⁾	前年同期比	17/3 通期 実績	18/3 通期 予想	前期比
為替レート(AR)	119.12	126.63	-	119.37	120	-
売上高	710	745	5%	1,391	1,506	8%
事業利益	81	74	-9%	191	218	14%
事業利益率	11%	10%	-1.5	14%	14%	+0.7
為替レート(CR)	113.36	132.9	-	119.8	120	-
のれん	1,206	1,276	-	1,215	1,276	-
無形資産	1,544	1,520	-	1,532	-	-
固定資産・在庫等再評価	74	-	-	73	-	-

国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム売上・加盟店ともに伸長

リフォーム商材売上

億円	17/3期 上期実績	18/3期 上期実績	前年 同期比
リフォーム商材売上	1,523	1,550	2%
リフォーム比率	37%	37%	+0P

オールLIXIL

無金利リフォームローン キャンペーン 期間延長

(概要)

- 金利はLIXILが負担
- 融資金額：合計金額 20万円以上1,000万円以下
- 最長60回分割（5年）
- リクシルPATTOリフォームのサービスショップ、LIXILのFC・VC加盟店などで、ローン会社のセディナの審査に合格した工事業者のリフォーム工事が対象



- 工事単価アップ：平均工事金額200万円以上（通常の現金払い平均工事の2倍以上）
- 成約率アップ

リフォーム加盟店の推移

店	16年 3月	16年 9月	17年 3月	17年 9月
LIXILリフォームショップ (FC)	480	505	519	535
LIXILリフォームネット (ボランティア)	12,492	12,989	13,227	13,255
リクシルPATTOリフォーム サービスショップ	-	(1) 500	3,365	3,618

LIXIL

(1) リクシルPATTOリフォームは2016年10月開始だが、その時の加盟点数を16年9月に表示している

33

(ご参考) 商品・サービス別売上状況

(単位：億円)

(単位：%)

セグメント	主要商品名	17/3期 通期実績 ⁽³⁾	17/3期 上期実績 ⁽³⁾	18/3期 上期実績	前年同期比 (%)
	バスルーム	934	448	491	9.5
	洗面化粧台	355	164	173	5.5
	タイル	291	135	138	2.3
LHT	住宅サッシ	1,991	994	971	-2.3
	エクステリア	1,087	539	535	-0.8
	リビング建材	604	294	294	-0.2
	その他LHT	991	523	433	-17.2
LBT	ビルサッシ ⁽¹⁾	1,096	518	512	-1.0
LKT	キッチン	1,068	503	538	7.0
D&R	ホームセンター売上 ⁽²⁾	1,720	872	875	0.4
H&S	住宅・サービス事業	644	323	239	-25.9
	海外売上	3,769	1,811	1,991	9.9
	その他・連結調整等 ⁽¹⁾	759	367	395	7.7
	売上合計	16,332	7,963	8,099	1.7

前年同期比					
17/3期 ⁽³⁾				18/3期	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
-2.1	3.3	7.2	8.5	11.4	6.4
-1.2	1.3	2.1	3.0	11.4	7.7
0.3	5.1	5.0	7.4	8.9	2.6
-1.4	-1.0	0.0	-1.1	1.1	3.3
-3.9	-1.0	-4.1	-0.6	-0.3	-4.1
0.6	-2.8	-4.9	-0.8	-0.5	-1.1
8.7	2.9	0.7	3.4	-1.3	1.0
-5.3	-7.3	-23.2	-20.3	-18.5	-16.0
-17.0	-3.8	-7.6	5.8	9.1	-7.4
2.6	2.1	2.4	3.1	8.0	6.1
-12.9	-10.3	0.3	-2.7	-0.2	0.9
5.0	17.3	9.9	1.0	-23.6	-28.0
-15.0	-18.7	-12.8	-14.4	5.0	15.2
-	-	-	-	-	-
-7.2	-8.0	-6.7	-7.3	1.3	2.1

LIXIL

(1) ビルサッシの数値をさかのぼってLIXIL子会社を含めたIFRSの値に置き換え、併せてその他・連結調整等も修正
 (2) ホームセンター売上において2015年9月建デポのカーブアウト影響を除いた前年比：17/3期 1Q：3.0%、2Q：7.8%
 (3) 非継続事業への振り替えに伴い前年度実績及び18/3期1Q前年比を過及修正。ただし17/3期の前年同期比は変更せず。17/3期は参考数値。

34

外部評価

新規評価

DJSI Asia Pacific index

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスと RobecoSAM社のダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) の「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄に選定 (2017年9月)

MEMBER OF

**Dow Jones
Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM

1 Q決算説明資料に掲載済み

FTSE4Good Index Series

FTSE Russellの「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄 (2017年6月)と「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄 (2017年7月) に選定



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan

MSCI日本株女性活躍指数

MSCI社の「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構築銘柄に選定 (2017年7月)



2017 Constituent
MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

免責事項

株式会社LIXILグループのMSCI指数への組み入れ、及び本ページにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名の使用は、MSCIまたはその関連会社による株式会社LIXILグループへの後援、保証、販促には該当しません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名前およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

「2017 All-Japan Executive Team」ランキング

Institutional Investor誌の「2017 All-Japan Executive Team」のランキングの建設セクターにおいて、「Best CEO」の第1位、「Best CFO」の第2位、「Best IR」の第3位、「Best IR website」の第2位に選出 (2017年5月)

LIXIL

35

LIXIL
Link to Good Living

この資料には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

報道関係各位

2017年11月6日

2018年3月期 第2四半期決算（IFRS） 上期の業績は予想通りに推移

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は本日、2018年3月期第2四半期（上期）の決算※¹を発表しました。

上期の売上収益は、本年8月21日に発表した業績予想通りに推移し、前年同期比1.7%増の8,099億円※²と増収となりました。LIXIL Water Technology（LWT）事業が国内外で引き続き堅調で、LIXIL Kitchen Technology（LKT）事業の国内売上も好調に推移したことが、増収に寄与しました。

事業利益※³は、前年同期比4.5%減の407億円※²となり、業績予想の400億円を上回りました。LWTおよびLKTの国内事業が利益拡大に貢献し、売上総利益率も向上しました。マーケティング活動への投資やIT関連費用の増加を受け、全体的には減益となったものの、積極的なマーケティング活動は国内売上の増加に寄与しました。事業利益率は、前年同期の5.3%から低下し、5.0%でした。

非継続事業を含む当期利益※⁴は、前年同期における外貨建て借入金円転等による為替差益の剥落や、Permasteelisa S.p.A（以下 Permasteelisa）の株式譲渡決定に伴う一過性損失の影響を受け、前年同期より113億円減少し、128億円となりました。

※¹ 国際会計基準（IFRS）に基づく。

※² 売上収益、事業利益ともに継続事業ベース。2017年8月のPermasteelisaの株式譲渡決定を受け、同社の売上収益および事業利益は、非継続事業に分類した。

※³ IFRSの事業利益は、日本会計基準（JGAAP）の営業利益に相当。

※⁴ 親会社の所有者に帰属する四半期利益。

LIXIL グループ社長兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「第2四半期には、事業ポートフォリオの最適化に加え、日本および海外事業のさらなる成長に向けて投資を継続しました。本日発表した上期業績は、予想通りに推移し、通期業績予想の達成に向けて順調に進捗しています。さらに、2019年3月期を初年度とする新中期経営計画『Toward Sustainable Growth（持続的成長に向けて）』を策定し、新たなスタートを切る準備が整いました。LIXIL グループでは、この中期経営計画に基づき、差別化された製品・サービスの提供をはじめとして、競争力強化と利益率向上に向けた施策を推進し、長期的な成長につなげていきます」

セグメント別決算の概要

LIXIL Water Technology（LWT） は LIXIL、INAX、GROHE、American Standard などのグローバルブランドを展開しており、上期の売上収益は、前年同期比7%増の3,418億円、事業利益は同7%増の325億円と増収増益となり、事業利益率は10%でした。国内事業とともに、特に欧州、中国の海外事業が好調で売上増に貢献したのに加え、中高級価格帯製品の売上伸長やシナジー効果により、増益となりました。INAXの技術とGROHEのデザインを融合して生まれたシャワートイレ「GROHE Sensia Arena」は、発売からわずか1年でドイツのシャワートイレ市場において、20%のマーケットシェアを獲得したベストセラー商品となりました。

LIXIL Housing Technology（LHT） は、主に日本国内の新築、リフォーム市場向けに製品・サービスを提供しており、売上収益は、前年同期比2%減の2,652億円、事業利益は同13%減の170億円、事業利益率は6%でした。売上収益は、前年同期に実施したハイビック株式会社の売却の影響を受け減収となりましたが、

この影響を除く実質ベースでは、増収となりました。事業利益については、この事業売却に加え、IT 費用の増加やマーケティング投資に伴う販管費増加による影響を受けました。また、LHT は、新たな分野への投資も進めており、第 2 四半期には、株式会社 LIXIL が、東京電力エナジーパートナー株式会社と連携し、日本におけるネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH) の普及促進に向け、合弁会社を設立しました。

LIXIL Building Technology (LBT) は、建設プロジェクトを手がけており、売上収益は前年同期比 2%減の 514 億円、事業利益は同 1%減の 19 億円、事業利益率は 4%でした。LBT は、売上収益、事業利益ともに前年同期とほぼ同水準でしたが、収益性の改善に向けて、引き続き選別受注の徹底を図っています。

LIXIL Kitchen Technology (LKT) は、システムキッチンおよび関連製品を提供していますが、売上収益は、前年同期比 7%増の 582 億円となり、事業利益は前年同期から 3.3 倍の 26 億円と大幅に増加し、事業利益率は 5%でした。日本国内における積極的なマーケティング活動により、主力製品である中高級価格帯のシステムキッチン「リシェル」および「アレスタ」シリーズの売上が増加し、さらに賃貸アパート向けのコンパクトキッチンの売上也好調だったことから、増収を達成しました。また、増収に加え、操業度向上による製造コストダウンによって、事業利益も改善しました。

流通・小売り事業は日本でホームセンター事業を展開していますが、売上収益は、前年同期とほぼ同水準の 875 億円になりました。事業利益は、一過性費用の発生により、前年同期比 5%減の 46 億円となり、事業利益率は 5%でした。

住宅・サービス事業等は、住宅関連ソリューションを幅広く展開しており、売上収益は前年同期比 26%減の 239 億円、事業利益は 55%減の 11 億円、事業利益率は 4%でした。これは、前年度の株式会社日本住宅保証検査機構 (JIO) の非連結化と、前年同期に進行中だった建売物件プロジェクトの完了の影響によるものです。

■ LIXIL、LIXIL グループについて

LIXIL について

株式会社 LIXIL は、戸建住宅・マンションからオフィス・商業施設などの非住宅向けに、多岐にわたる建材・設備機器および幅広い住関連サービスを提供するグローバル企業です。LIXIL、American Standard、GROHE、DXV、INAX、Permasteelisa をはじめとする業界をリードする数々のブランドを有し、水まわり製品から内外装建材をはじめとする先進的な製品・サービスの提供を通じて、世界中の人びとのより豊かで快適な住まいと暮らしの実現に貢献しています。現在、世界 150 カ国以上で事業を展開し、70,000 人超の従業員を擁しています。

LIXIL ウェブサイト：<http://www.lixil.co.jp/>

LIXIL グループについて

株式会社 LIXIL グループ (証券コード：5938) は、中核事業会社である株式会社 LIXIL をはじめ、株式会社 LIXIL ビバ、株式会社 LIXIL 住宅研究所などを傘下に持つ持株会社で、東京証券取引所および名古屋証券取引所に上場しています。多岐にわたる建材・設備機器の製造、販売に加え、ホームセンター事業や住宅フランチャイズチェーンの運営、不動産サービスなど、幅広い住関連サービスを展開しています。2017 年 3 月期の連結売上高は 1 兆 7,864 億円*です。

LIXIL グループウェブサイト：<http://www.lixil.com/jp/>

※国際会計基準 (IFRS) ベース